

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向けた 県立スポーツ施設等の整備状況について

県立スポーツ施設については、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会での活用はもとより、本県のスポーツ振興や県民の健康づくりに資するよう整備を進める。

(1) (仮称)金亀公園

(仮称)金亀公園は、両大会の主会場はもとより、将来のスポーツ振興やスポーツを通じた健康増進、地域の活性化のための施設として整備を進めており、令和4年度末の完成を目指し着実に整備に取り組む。

【整備概要】

区分	概要
第1種陸上競技場	収容人員:15,000人以上 構造:鉄筋コンクリート造5階建て トラック:400m×9レーン フィールド:107m×71m
第3種陸上競技場	管理棟 トラック:400m×8レーン
庭球場	12面(両大会後に整備時期を検討)
野球場	(存置)
エントランス広場・緑の広場	休憩所、便所、植栽など
駐車場	約1,100台(一部両大会後に整備予定)
駐輪場	約380台(")

【整備スケジュール】

項目/年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6以降
公園敷地の拡張	→						供 用 開 始	
既存施設解体 (建築施設、土木施設解体)	←	←						
盛土造成 (基盤工事、地盤対策工事)			←	←	←			
第1種陸上競技場 (建築施設設計画設計)	←	←						
第1種陸上競技場 (建築施設工事)			←	←	←			
第3種陸上競技場 (陸上施設工事)					←	←		
第1種および第3種陸上競技場 (競技用備品の購入)					←	←		
その他公園施設 (緑の広場、エントランス広場、 交流広場、第1種外構などの工事)					←	←		→
連絡橋 (橋梁工事)				←	←			

【整備費】

約213億円



完成予定鳥瞰図



事業地南側から撮影（令和4年1月）

【現在の整備状況】

第1種陸上競技場については、躯体工事が概ね完了し、現在スタンドの屋根部分を施工中である。また、第3種陸上競技場については、管理棟建設工事やウレタン舗装工事等に着手したところである。

(2) 滋賀アリーナ

老朽化が進み、施設が狭隘となっている現体育館（ウカルちゃんアリーナ）を、スポーツ会館が有するトレーニング機能を複合化させ、びわこ文化公園都市内に移設整備することとし、両大会の競技会場として活用することはもとより、県民のスポーツ・健康づくりの拠点施設とする。

今年12月の供用開始を目指し着実に整備に取り組む。

今年10月より、滋賀ダイハツ販売がネーミングライツパートナーとなり、愛称を「滋賀ダイハツアリーナ」とする予定。

【整備概要】

建物	
メインアリーナ面積	約 2,900 m ² （バスケットボールコート 3 面）
サブアリーナ面積	約 1,300 m ² （バスケットボールコート 1 面）
メインアリーナ観客席	約 5,000 席 （約 2,500 席は 2 階固定席、約 1,600 席は壁収納型可動席、その他仮設席）
サブアリーナ観客席	約 200 席（2 階固定席）
その他諸室（主なもの）	トレーニング室、スポーツ・体力測定室、多目的室、大会議室、小会議室（4 室）、事務室、応接室、医務室、キッズルーム、授乳室、飲食提供施設
その他施設	
多目的広場	約 8,000 m ² （一部人工芝）
駐車場	約 900 台（常設約 500 台、臨時約 400 台）
駐輪場	自転車約 170 台、原付・自動二輪車約 30 台

【整備スケジュール】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (国スポ)
用地造成関連		造成 工事		インフラ工事等			
アリーナの 建設・運営等 (PFI方式)		設計	建設等	★ 供用開始 (R4.12.1)	維持管理・運営 (R4.12~R19.3 14年4ヵ月)		

【整備費】

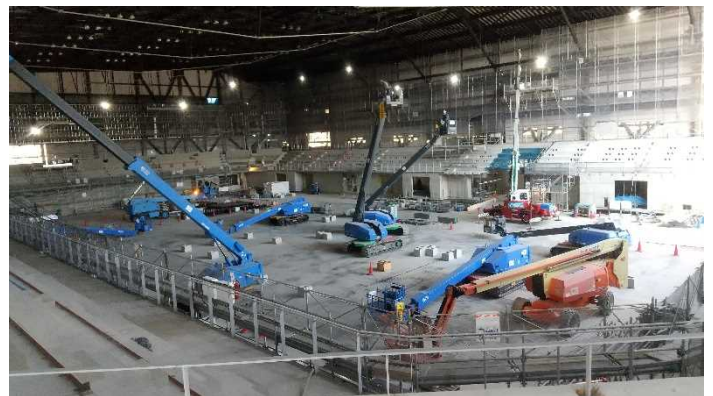
約 93 億円



完成予定鳥瞰図



事業地南側から撮影（令和4年2月）



メインアリーナ内の状況（令和4年2月）

【現在の整備状況】

事業地までの下水道に係る工事を完了した。（来年度は事業用地内の舗装等工事を実施予定である。）PFI事業については、屋根工事が完了し、内部設備等工事を実施中である。

(3) 関西みらいローイングセンター

消波装置の設置などのコース改修については令和2年4月に工事が完了しており、管理棟や艇庫の改築についても、令和3年3月に新施設を供用開始している。

令和3年4月より、関西みらい銀行がネーミングライツパートナーとなり、琵琶湖漕艇場の愛称を「関西みらいローイングセンター」とした。

【整備概要】

区分	概要
管理棟・艇庫改築	<ul style="list-style-type: none">・延床面積 1,259 m²・トレーニング室の新設・会議室兼宿泊室の設置・艇庫の拡張 (403 m² 611 m²)・公園利用者が観覧できるスペースの新設・バリアフリー化
コース改修	<ul style="list-style-type: none">・安全性向上のための北上移設 (50m)・波の影響を低減するための消波装置の設置

【整備費】

約10億円



管理棟・艇庫入口を撮影



管理棟・艇庫を琵琶湖から撮影

【現在の整備状況】

コース改修および管理棟・艇庫改築は完了しており、現在、公園復旧工事を施工中である。

(4) 希望が丘文化公園

国民スポーツ大会において、ラグビーフットボール競技会場として活用することから、老朽化が進んでいる球技場、陸上競技場、スポーツ会館について、それぞれ人工芝への張替、天然芝の改修および老朽化対策などを実施する。

【整備概要】

- 球技場〔令和3年3月完成〕
- ・天然芝から人工芝に改修
- ・散水システムの導入、ラグビーゴール改修
- ・観客席設置（陸上競技場側の観客席を含む）
- 陸上競技場〔令和3年12月完成〕
- ・天然芝の全面改修、トラックの全面改修
- ・ラグビーゴール改修、第4種ライト公認備品の購入
- ・スポーツ会館から陸上競技場までの園路改修（令和4年3月末に完成予定）
- スポーツ会館〔令和4年3月完成〕
- ・老朽化対策（外壁・屋根、電気設備等改修）
- ・バリアフリー対策（階段昇降機、屋外スロープの設置等）
- ・アメニティの向上（トイレ・更衣室・シャワーの改修等）
- 照明設備新設
- ・球技場へ照明設備を新設



球技場・陸上競技場完成写真

【整備スケジュール】

施設	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
球技場整備 (観客席設置含む)	実施設計	工事	供用開始			リハーサル大会	国民スポーツ大会
陸上競技場整備			工事	供用開始 (芝生は養生)			
スポーツ会館 リニューアル	実施設計	工事		供用開始			
照明設備新設			実施設計	工事			

【整備費】 約20億円

【現在の整備状況】

スポーツ会館については、3月9日に工事が完了し、4月1日から利用を開始する予定である。

また、球技場への照明設備の新設については、令和4年度に工事を実施する予定である。



スポーツ会館完成写真



体育室

(5) 柳が崎ヨットハーバー

ヨットハーバー内の老朽化した艇庫を再整備する。

【整備概要】

艇庫	約 300 m ² 国民スポーツ大会開催時は、計測所として活用
事務所棟	約 200 m ² (2階建て) 事務室、会議室 等

【今後のスケジュール】

令和4年度 地質調査、設計
令和5年度 建設工事

現在の艇庫・事務所



【整備費】 約 2 億円



バルコニー



外壁パネルの破損

(6) (仮称)草津市立プール

(仮称)草津市立プールについては、廃止された県立スイミングセンターの代替機能を担うものとして、基本協定書に基づき、県が財政支援を実施する。

【整備概要】

プール施設	プール	50m プール、25m プール、飛込プール
	観客席	約 2,500 席 (仮設席・車いす用席を含む)
	関連諸室等	選手控室、会議室、医務室、器具庫 等
付属施設		飛込ドライランド、トレーニングルーム、スタジオ、キッズスペース 等
管理・共用施設		受付・事務室、応接室、中央監視室、設備室、倉庫、授乳室 等
外構	駐車台数	約 200 台
	駐輪台数	自転車：約 30 台、自動二輪、原付：約 30 台

【今後のスケジュール】

令和3年4月～令和6年5月 設計、建設期間
令和6年6月 供用開始

【整備費】

約 103 億円
(うち、県負担見込額 約 56 億円)



完成予定鳥瞰図

【現在の整備状況】

PFI事業については、予定地の造成工事および建築物の実設計中である。整備に伴う道路工事については、県道付替工事を実施中である。